

「にいがた農業応援ファンド」の取組み

JAグループ新潟では「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とするJA自己改革を不断の取組みとしていくため、令和4年度から令和6年度の3年間における農業者への支援パッケージとして、「にいがた農業応援プログラム」を展開しています。

中でも、柱となる事業の一つである「にいがた農業応援ファンド」につきまして、令和4年度は、「新潟県園芸振興基本戦略」の取組みを新潟県および関係機関と一体となって一層推進していくため、「1億円園芸産地チャレンジ事業」の助成枠と助成率を拡充しました。また、「園芸生産拡大支援事業」および「新規・親元就農応援事業」を継続し、農業者の取組みを支援しました。

農業者の皆さまより多数の申請をいただき、審査・抽選の結果、3事業合計で282件・69,992千円の助成を採択いたしました。

令和5年度は、「1億円園芸産地チャレンジ事業」の助成枠をさらに拡充するとともに、スマート農業等の導入による労働生産性の向上およびカーボンニュートラル等の環境負荷軽減に繋がる取組みに対し助成を行う「農業イノベーション応援事業」を新設し、引き続き農業者の取組みを後押しする、より踏み込んだ支援に努めてまいります。

にいがた農業応援ファンド取組実績（令和4年度）（単位：件、千円）

| 事業名             | 申請件数 | 申請金額   | 採択件数 | 採択金額   |
|-----------------|------|--------|------|--------|
| 1億円園芸産地チャレンジ    | 149  | 45,200 | 144  | 43,580 |
| 園芸生産拡大支援(担い手向け) | 82   | 15,227 | 82   | 15,212 |
| 新規・親元就農応援       | 56   | 11,200 | 56   | 11,200 |
| 合計              | 287  | 71,627 | 282  | 69,992 |



にいがた農業応援ファンドを活用して導入した農機具

JA自己改革の取組み

令和5年度のプログラム実施内容

1.「にいがた農業応援ファンド」の展開

直面する課題の克服にチャレンジする担い手のあと一歩を応援し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に寄与することを目的としたファンドを展開する。

(1)内容

課題克服にチャレンジする担い手に、必要な資金の一部を助成する。

(2)助成額

90百万円

(3)助成対象事業

- ①1億円園芸産地チャレンジ
- ②園芸生産拡大支援
- ③農業イノベーション応援
- ④新規・親元就農応援

2.担い手向け金融支援策の提供

(1)「担い手支援資金」(愛称:アグリV)の継続

借入当初3年間において利子補給・保証料助成により実質金利負担が最大年1.57%軽減となるアグリVの取扱いを継続する。

(2)保証料助成の継続

農業近代化資金にかかる県農業信用基金協会保証料の助成を継続する。

3.プログラムの推進・支援体制の構築

(1)「JAグループ新潟担い手サポートセンター」との連携

中央会・連合会による事業横断的な担い手サポートセンターと連携し、担い手の多様なニーズへの総合的な対応に努める。

(2)専門家等の活用による相談支援機能の強化

担い手サポートセンターは、農業の現場に精通した専門家等の活用により、担い手の相談支援に必要な体制を確保する。